

# 令和3年度第8回原町区地域協議会

## 会議録

① 日時 令和4年2月24日(木)

② 場所 市役所本庁舎3階第1会議室

③ 会議時間 開始 午前 9時25分  
終了 午前 10時50分

④ 出席委員(10人)

会長 伊達 孝行	副会長 本間 健一	委員 佐藤 正幸
委員 野地 健一	委員 宮下 亨	委員 谷田部 真敏
委員 村上 勇一	委員 鈴木 香織	委員 藤原 ヒロ子
委員 相良 雄史		

⑤ 欠席委員(4人)

委員 齋藤 健一	委員 高玉 智子	委員 森 大輔
委員 佐藤 倫子		

⑥ 説明のため出席した者の氏名

土木課維持担当課長	高田 靖幸
土木課維持係保全担当係長	折笠 圭介
土木課維持係主査	根本 諭
小高区地域振興課長	佐藤 浩一
小高区地域振興課自治振興担当係長	烏中 いずみ

⑦ 出席した事務局職員

星 高光 庄司 一弘 高野 真至 北原 圭子

⑧ 担当書記

北原 圭子

⑨ 本日の会議に付した案件

(1) 報告事項

- ① 南相馬市橋梁長寿命化修繕計画の改訂に係るパブリックコメント手続の実施について【土木課】
- ② 令和4年度小高区自治振興基金の活用について【小高区地域振興課】

(2) その他

- ① 南相馬市就業等人材確保住宅条例・施行規則の廃止についての答申について
- ② 南相馬市子ども・子育て応援条例(素案)に係るパブリックコメント手続の実施についての意見書について

- ③ 平成30年度から現在までのパブリックコメントの実施結果について
- ④ 意見交換
- ⑤ その他

⑩ 会議録署名委員

委員 野地 健一      委員 村上 勇一

1 開会

午前9時25分開始

■原町区地域振興課長

委員の皆様には、お忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。出席予定の委員の皆様がお揃いですので、ただいまより令和3年度第8回原町区地域協議会を開会いたします。

2 会長あいさつ

■原町区地域振興課長

はじめに、原町区地域協議会伊達孝行会長よりご挨拶を頂戴いたします。

◇会長

(会長あいさつ)

3 議事

■原町区地域振興課長

ありがとうございました。

これより議事に入りますが、これ以降は、会長が座長になり会議の進行をお願いいたします。

(1) 会議録署名人の指名

◇議長

それでは、次第により議事を進めてまいります。

はじめに、会議録署名人の指名ですが、会議録署名人には野地健一委員と村上勇一委員の2人をお願いします。

(2) 書記の指名

◇議長

次に、書記の指名ですが、書記は原町区地域振興課北原主事を指名します。

(3) 報告事項

◇議長

では報告事項の、①「南相馬市橋梁長寿命化修繕計画の改訂に係るパブリックコメント手続の実施について」担当課から説明をお願いします。

■土木課

(説明)

◇議長

只今の説明に関して、何か質問等があればお願いします。

◎本間委員

4ページの当初計画の改訂後の比較については、市が設置する橋で、県、国は関係していないという理解でよろしいですか。

■土木課

はい、市が管理する橋のみです。

◎本間委員

橋の強度や安全についてなど、水害との関係を考えていただきたいです。西町の大木戸排水路とそれから笹部川と大木戸川の改修が始まりましたが、笹部川と大木戸排水路には、北原堀として用水路に利用している合流地点があります。また、雲雀ヶ原と馬場の水のほとんどが笹部川を經由し西町の大木戸川に流れています。何十年も見てきていますが、合流地点の川幅が狭く、橋も平です。相馬市の宇田川などは、川幅も広く、橋も太鼓橋になっています。最終地点の、相馬農業高校の西から笹部川が通る嵐商店の所の県道も平です。それから仲町、いわゆる市役所に向かっての道場橋も平です。令和元年の10月12日の台風19号では、全部橋桁まで水位が上昇しました。それ以上にゲリラ豪雨があれば、仲町二丁目は水浸しになってしまいますし、西町もほとんどが浸水してしまいます。市の橋ばかりではなく、県の橋であっても併せて考えていただきたい。

◎佐藤委員

改訂ということですが、全面改訂なのか部分改訂なのかわからないです。説明を聞いていると部分改訂ですが、資料を見ていると全面改訂なのかなと思います。パブリックコメントに出すのはいいですが、元の値が全然わからないので、地域住民が何を改訂したいのか、確認することが出来ないと思いますが、どうですか。

■土木課

今回の計画改訂は、全面改訂になります。

資料1-2の2ページの黄色枠の部分に当初計画、緑色枠の部分に改訂後の計画の目的・手段・効果を書いております。

◎佐藤委員

どれだけ変わるのですか。普通ですと、文章があって、新旧対照表を出すでしょう。この資料ですと、いろいろな所が変わるのだなとは思いますが、よくわかりません。私でさえ思うのですから、この資料をパブリックコメントに出しても、市民の方だって、わからないと思います。担当者だけがわかる資料を出すのは、よくないと思います。

■土木課

今回パブリックコメントを公表する時に当初計画の概要版を付けるようにいたします。比較できるようにいたします。

◎佐藤委員

改訂版ですから比較できるようにしてください。市民に丁寧に説明するようにしてください。

■土木課

市ホームページにも当初計画が載っています。パブリックコメント時にも当初計画と比較できるようにいたします。

◎佐藤委員

失礼ですが、ホームページを見ている人はどの位いるとご存じですか。見ないのが悪いと言われればそれまでですが、南相馬市の高齢化率が大変高い中で、どの位見られる方がいるのでしょうか。危険な橋の近くに住んでいる高齢者も多いと思います。市民の安全のためにも、こういう高齢者の方々にもわかってもらうことが必要だと思います。ホームページに載せればいいでしょうと安易な考えではだめだと私は思います。資料1-4の地図を見ても、どこがどうか分かりません。もっとわかるようにしてください。改訂に関しては反対というわけではありません。市民に対してもっとわかりやすくしてほしいという意見を言っています。

◎本間委員

西町地内、第三小学校通りの笹部川に係る橋は太鼓橋になっているのですが、水道管の本管が通っておりまして、半分くらいの水が橋に引っかかっています。西側車線は真っ直ぐだからいいですが、北から南に向かうところで急に狭くなって多少の登り坂になります。三丁目と一丁目の県道から南に向かいますと必ずスピードを出してきますので、度々衝突事故が起きています。そこをどのように考えていますか。わかれば教えてください

■土木課

笹部川は県が管理する河川です。その河川に架かる橋なので、ルールが多く改修等を簡単に行えません。しかし川幅が狭くなっていて、危険なことから、市では橋の安全対策だけはさせていただいています。今後についてですが、笹部川が原町高校の所でショートカットしましたので、県の方から市に移管する準備の準備にやっと入ったところです。今後、市の排水路として移管されれば、橋の部分も改修が可能になります。その際は橋梁ではなくボックスカルバートとして入替えができるような案を考えていますので、今しばらくお時間をください。

◎本間委員

移管の話は10年以上も前から聞いています。氾濫しても境がどこかわからずに困っているわけです。今少しと言われても困ります。見通しを教えてください。

■土木課

以前と変わらず申し訳ありません。県の方に早くしてくださいと申し入れをしております。若干うまくいってないところがありますが、引き続き早く移管していただけるよう申し入れしてまいります。

◎佐藤委員

笹部川の改修箇所ですが、大変な場所ですので、区長になって5年、それ以前30年前から改修を県に陳情していますがだめです。私のところも2年前と3年前に、3回氾濫しています。床下浸水が十数棟ありました。最後は県の課長を人災でしょうと、怒鳴りつけてしまいました。改修を30年も前からお願いしているのですから。区長になって5年の間もお願いをして、その間に3回調査しましたが、また氾濫しました。毎回同じような検査ばかりしていて進まないです。やっと工事が始まりましたが、今度は土地収用の問題があって川が中心がダメだということになってしまい工事がストップしたことがあります。交渉を進めて、県には再び工事を進めてもらっています。県の河川なので、市が関わる所もあるでしょうが、難しいです。県の河川と市の河川では違うのですから。

◎村上委員

1-2の4ページ(4)の当初計画と改訂後の比較ですが、この表もパブリックコメントに出すのでしょうか。

■土木課

はい、この資料1-2の表についても出します。

◎村上委員

比較してみると、効率的に予算を圧縮とありますが、この表では、パッと見ると、改訂後は橋の数は少なくなり年数も短くなっているのに予算だけは大きくなっています。全然圧縮されていないイメージになっています。我々は素人ですから、わかりやすい所だけを見てしまいます。そうすると圧縮になっていないのはいかど、何かもやもやしてしまいます。もっとわかりやすい示し方を考えてほしいです。

■土木課

この表では、改訂後の計画では上限が年3億円ということで、45億円(15年×3億円)ではないです。あくまで上限3億円です。実際は資料1-3の18ページをご覧ください。18ページの真ん中に青枠と赤枠がございます。当初計画は50年間という壮大な計画ではありますが、改訂計画と比較するために15年と設定しました。青枠の場合は、事業費が33億1千万円です。改訂後は15年で31億5千万円なので1億6千万の削減となります。これはわかりづらいでしょうか。

◎村上委員

わかりづらいです。市がひとつひとつに説明を加えないと理解できないようでは大変でしょう。予算を圧縮するといっても、予算は多くなっているし、橋を重点的に改修すると言っても、橋の数は減っています。市では余計なお金を使っているのかと思われ、この表ではクレームがきますよ。

■土木課

比較については内部で検討し、冊子の方よりも、概要版の方がいいということになったものです。18ページのような表現をすると煩雑になりすぎること

で、あえて触れませんでした。確かに質問に対しては、冊子に記載がありますので、丁寧な説明をさせていただきます。

◎村上委員

逆にこの冊子の比較表を入れた方が、説明が楽ではないですか。

◎野地委員

18ページの当初予定の15年間の事業費が33億1千万円となっていますが、事業費年間1億円が上限なら、15年で15億円なのではないのですか。合っていないのではないですか。

■土木課

当初計画では、年間1億円ということで計画を立てましたが、設計委託に関する費用と点検手法が当初計画から変わったために、点検費用と委託費用分が増加しました。また、当初計画に入れていなかった橋梁で架け替えが発生した、南相馬インターから北の側の信田沢小池線の庚塚橋、小高の琵琶橋があります。当初計画に入れていなかったのですが、損傷が激しいということで、架け替えをしております。実施に於いてこの分が増額になったものです。

◎佐藤委員

そのようなことは、はっきり言って、資料からは読み取れません。我々もそうですが、市民からもこのような疑問は出ると思います。そういうことは、ちゃんと注意文として書かないとわかりません。説明不足ですよ。これでパブリックコメントにかけるのは凶々しいです。市民はどうせ何もわからないのだから、議会にかける前にパブリックコメントを実施しました、という説明をするためと見受けられます。市民の意見を聞くためには、もっと丁寧な説明を心掛けてほしいです。地域協議会委員を2年やってきましたが、いつもそうです。住民目線の説明がないと感じています。素人目線のコメントが必要だと思います。この資料を見て委員の3人4人から質問が出ているのですから、説明がないということですので、そこは考えていただき、資料を作成して下さい。

◇議長

資料のコメントに関しては、全体的にわかりづらいので、市民にわかりやすくしていただくよう提案してほしいと、要望としておきます。

◇議長

他にありませんか。ないようですので、以上で報告事項①を終わります。

◇議長

次に報告事項②「令和4年度小高区自治振興基金の活用について」担当課から説明をお願いします。

■小高区地域振興課

(説明)

◇議長

只今の説明に関して、何か質問等があればお願いします。

◇議長

ないようですので、以上で報告事項②を終わります。

#### 4 その他

- ①「南相馬市就業等人材確保住宅条例・施行規則の廃止について」の答申について
- ②「南相馬市子ども・子育て応援条例（素案）に係るパブリックコメント手続の実施について」の意見書について
- ③平成30年度から現在までのパブリックコメントの実施結果について
- ④意見交換
- ⑤その他

#### 5 閉会

午前10時50分終了

■原町区地域振興課長

以上をもちまして、第8回原町区地域協議会を閉会といたします。ありがとうございました。

以上のとおり相違ありません。

会長

伊達孝行

会議録署名人

野地健一

会議録署名人

村上勇一

行卷送別

蘇州別

蘇州別